

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	バセドウ病患者における MRI 画像によるバセドウ病眼症の診断のための AI 診断ソフトの開発
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	眼形成・眼窩・涙道外科
研究責任者	准教授 高橋靖弘
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	大阪市立大学大学院医学系研究科 放射線診断学・IVR 学教室 植田大樹
研究の意義・目的	バセドウ病患者の約半数は甲状腺眼症を発症すると言われています。バセドウ病眼症の診断においては、画像検査が重要です。しかし、バセドウ病の診察を行う内科医やバセドウ病眼症患者の診察をする機会の少ない一般の眼科医にとっては、眼窩部の画像診断は困難な場合があります。本研究は、バセドウ病患者における MRI 画像によるバセドウ病眼症の診断のための AI 診断ソフトの開発を目的としています。
対象となる患者さん	2014年5月から2019年5月までに甲状腺眼症の診断目的でMRIを撮像したバセドウ病患者さん
研究の方法	バセドウ病で眼症を発症した患者さんと発症していない患者さんの眼窩MRIを用いて、一部はAIに学習をさせるデータとして使用し、もう一方は、その学習したAIモデルが正しく疾患を分類できるかを評価する目的で使用します。評価は統計を用いて行います。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2021年6月30日
研究に用いる試料・情報	情報：年齢、性別、臨床所見、MRI画像
外部への試料・情報の提供	大阪市立大学大学院医学系研究科 放射線診断学・IVR 学教室にデータを提供し、ソフト開発を行います。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
その他	なし

問い合わせ先	愛知医科大学 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：准教授 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 12314）
--------	---